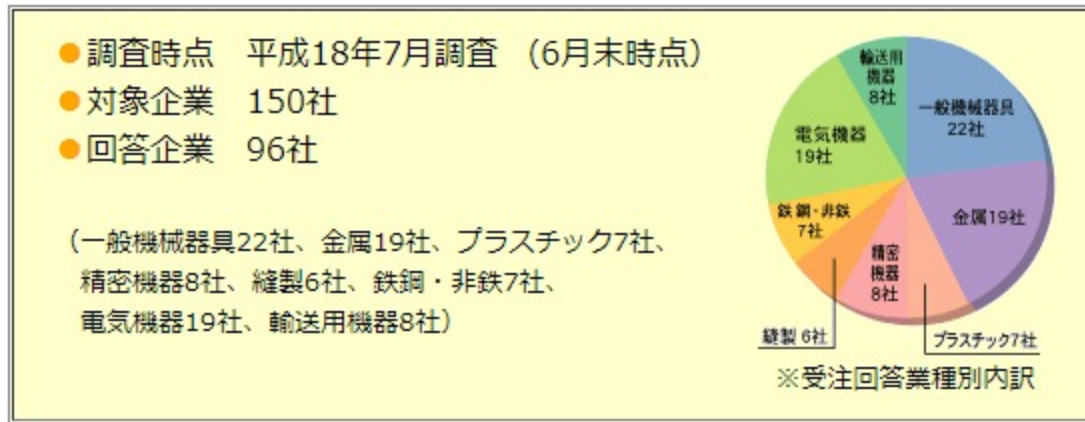


2006.7



## 対前年同月比

全業種での生産高（対前年同月比）は7.3ポイント（前回10.6ポイント）を示した。業種別では「精密機器」「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」の業種ではプラス傾向を示し、「プラスチック」ではマイナス傾向にある。

受注単価（対前年同月比）では、△30.2ポイント（前回△26.6ポイント）と厳しい状況となっている。「鉄鋼・非鉄」をのぞく業種でマイナスとしている。特に「プラスチック」「精密機器」「金属製品」では厳しさが窺える。

資金繰り（対前年同月比）は、6.3ポイント（前回△3.2ポイント）と若干の良化を示した。「鉄鋼・非鉄」「精密機器」では良化傾向を示し、「プラスチック」「電気機器」では悪化傾向とする企業が目立っている。

### ■全業種の受注動向（グラフA）



## 3か月先見通し

全業種での業況3か月先見通しは、4.2ポイント（前回4.3ポイント）を示した。

業種別では、「金属製品」「一般機器」「精密機器」「輸送用機器」では増加とする企業が目立っているが、「プラスチック」「繊維」では減少に転じる見通しとしている。

### ■業種別の受注動向（グラフB）

